

第一部総合ジェンダー分科会（第24期・第5回）議事要旨

日時 2018年9月28日（金）16:00～17:00

場所 甲南大学サテライトキャンパス

出席 永瀬 和泉 窪田 伊藤 井野瀬 大串 後藤 仲 二神 藤原

欠席 上田、杉田、巽、本田、吉田

議題

1. 調査の実施状況および回収率増加のための手立てについて

- ・さらに個人ベースで働きかける等、手を打つことになった。
- ・アンケートに関する各学会の反応に関する情報交換がなされた。

2. 調査分析参加へのギース学会へのお願いについて

- ・正規のルートを通じて募る方が、各学会を巻き込むことができる。
- ・同時に可能性のある協力者に打診していくことも必要。
- ・アンケート・データの秘匿化についても、公開の段階分けを設定する等、検討する。
- ・データクリーニングの必要性がある。

3. 報告書の発出スケジュールについて

- ・提言を第5次男女共同参画基本計画の前に発出することを考えるならば、
2019年2月中間報告→2019年5月会合→9月報告書→2020年2月提言発出
- ・提言作成に当たって GEAHSS 加盟学会の声を集め、提言に反映させる。
- ・GEAHSS 側の提言の前にこちらの提言を出し、参照可能にする。

4. 2月共同主催シンポジウムについて

- ・分科会 10時～、GEAHSS 運営委員会 11時～
- ・登壇者を具体的に検討した。

5. その他

- ・セクハラ対策として、研究者倫理 e-learning の中にセクハラ・パワハラ項目を盛り込むよう働きかける。
- ・現状では、学会のセクハラは加害者と被害者の所属大学が異なる場合、処罰もない。ハラスメント委員会をもつ学会等の先行事例について情報を共有したい。
- ・『学術の動向』でも特集を組みたい。
- ・総合ジェンダー分科会と GEAHSS の連携体制については、今期以降も継続的に維持する。